

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 音声対話系における言語・音響モデル自動適応

2. 個人研究者名

武田 龍（大阪大学産業科学研究所 准教授）

3. 事後評価結果

ユーザーとの対話を通して、未知語や固有の言葉遣いなどの未知パターンを学習し、ユーザーへ自動適応する音声認識モデルを開発した。具体的には、言語・音声モデルでの未知パターン対応、音声対話を用いた未知語ラベル・属性獲得といった技術を開発した。

音素に着目し、教師なしで音声認識モデルのパーソナライズを実現した点は興味深い。システムを開発するだけでなく、対話ロボットコンペにおいて一定の結果を残したことも評価できる。加えて、音声データからのユーザー年齢推定など、新たな技術の可能性を示した。

今後も実ユーザー実験を繰り返しつつ、「融通の利く」音声インターフェイスの開発を進めてほしい。また、対話システム・QAシステムとして部品化を行い、工場・病院などの産業用から家電製品などの家庭用まで、幅広い用途での実装を期待したい。